

雲ノ平縦走

2012.7/29~8/2

有志 4 名

* 7/29~7/31 の岩苔乗越までは男性の裏銀座縦走グループと同一行動

7/29

京都八条口 — 高山バスセンター — 新穂高温泉—
(8:55) (13:02) (14:20 着) (14:35 発)

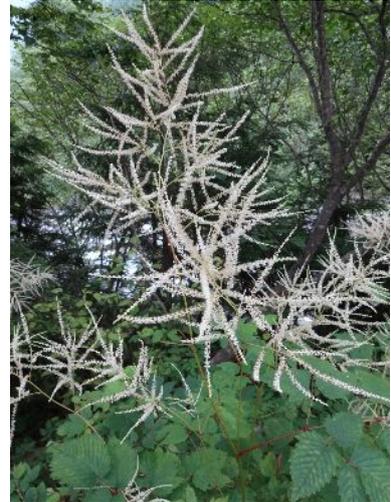
わさび平小屋
(16:00)



ウバユリ



オニシモツケソウ



トリアシヨウマ?



オオヤマレンゲの実



ノリウツギとホシミスジ



ニワトコの実



イチモンジ



クガイソウ



タマガワホトトギス



ホタルブクロ



わさび平小屋— 秩父沢 — 鏡平 — 弓折乗越 — 双六小屋 — (巻き道) — 三俣山荘
(5:10) — (6:20) — (9:02) (9:43) — (10:15) — (12:30) (13:05) (16:00)



秩父沢から秩父平方面 2667m



色付きはじめたナナカマド



オオヒョウタンボク



クルマユリ

カラマツソウ⇒



キヌガサソウ 花は 白→ピンク→緑へと変化





シナノキンバイ

ハクサンイチゲ



弓折乗越



ミヤマダイヤモンドジソウ



ハクサンチドリ



ハクサンフウロウ



カンチコウゾリナ



ヤマハハコ



ミヤマキンバイ



弓折乗越から双六までの稜線に咲き誇るハクサンイチゲと雪溪



リンドウ



クロユリ



ハクサンシャクナゲ



トリカブト



← 双六岳を望む
⇒ 双六小屋





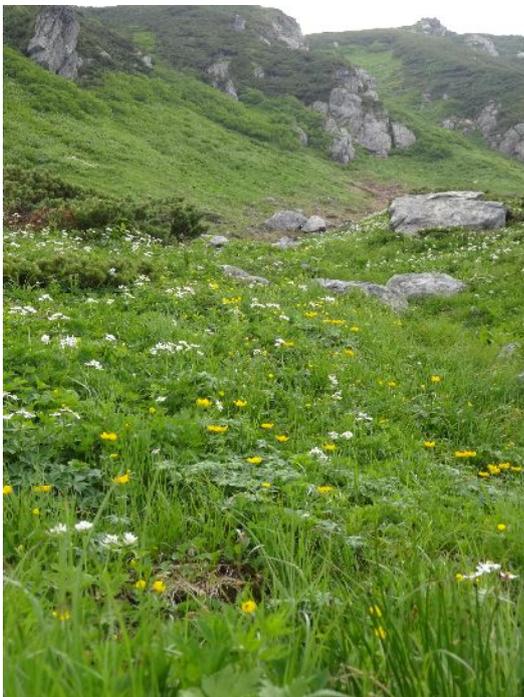
双六小屋から鷲羽岳を望む



タカネヤハズハハコ



ミヤマキンバイ



鷲羽岳とハクサンイチゲ

2日目、準備運動を済ませ出発。男性陣と最後まで、三俣山荘まで歩くか、双六までとするかは、

双六で決めることにしました。左俣谷を右に見ながら林道（小池新道）を歩き1時間少々で秩父沢に到着。水量多く気持ちよい。色づき始めたナナカマドが目にしみる。

大ノマ乗越と鏡平の分岐点には、道標もなく、かすかに乗越への道がわかる程度で廃道になっていました。なだらかな乗越の稜線が気持ちよく伸びていて、一株のキヌガサソウの白い花が疲れた体を癒してくれました。ここから、鏡平まで1時間あまりの行程ですが、Sさんの足に少々トラブル。それでも、無事鏡平に到着。逆さ槍を見るために40分の大休止を取るも残念。カキ氷などで慰めました。

槍はこれからの縦走であえるだろうと気を取り直して出発。弓折乗越への中継地点に雪渓が。双六までの稜線にも登山道に雪渓が残っていて、あたり一面にハクサンイチゲの花畑が広がり、最高の山歩きとなりそうな予感に胸躍りました。

双六でまずいラーメンを食べ、女子グループも男子陣と同行することにしました。男子陣は双六岳の登頂を断念し私達と同じ巻き道に行くことにしました。この巻き道は何回か歩いたのですが、やはり、花が多く心なみえました。三俣蓮華岳には、誰も登りたいという人がなくて、このまま、三俣山荘へ直行となりました。



三俣蓮華岳への分岐

7/31 快晴

三俣山荘 → 鷲羽岳 → 岩苔乗越 → 祖父岳 → スイス庭園 → 雲ノ平山荘
(5:40) → (7:11) (7:30) → (8:28) → (10:21) → (12:05)

*祖父岳で30分以上のロスタイム



(朝焼けの槍)

この日は快晴。槍が一望でき展望のよい山歩きが期待できそう。体操を済ませ、5:40 鷲羽岳に向けて出発。ガイドブックに書いてあるような足場の悪い道ではなく、よく整備されていて歩きやすい。1時間半あまりで、鷲羽に到着しました。ここからの眺望は抜群でした。黒部五郎、笠、乗鞍、西鎌、槍、北鎌、富士山、水晶、薬師、祖父等々ぐりと望むことができました。まだ、たくさん見えましたが、広域地図を持っていないので残念でした。一通り展望を楽しみ、鷲羽岳を後にしました。(ずいぶん昔、逆方向から登ったのですが、全く、記憶に残っていませんでした。) ワリモ岳を過ぎて、岩苔乗越への分岐

で男性陣と別れ、祖父岳へと道をとりました。

登っている途中水晶方向にグループが見えたので、「ヤッホー」と叫んだところ、かえって来ました。誰かが、「祖父岳の看板が壊れているわ」といったので、この地点が祖父岳と思い込み、ここから、下りで15分で雲ノ平に着くと喜んで歩き出したところ、道は登りになっていて、初めておかしいと気づきました。N、Mさんに待ってもらい、確かめに行きました。祖父岳の頂上はとても広く、ケルンがたくさん立っていて、地図、コンパスで、雲ノ平山荘への道を確認して、一安心しました。(今から考えると、地形を見たら、頂上でないことぐらい一目瞭然で、本当に穴があったら入りたくらいでした。)

植生保護のため、キャンプ場を通過して山荘へはいけず、いったん東側の尾根につけてある巻き道を通して山荘に向かいました。予定より、20~30分くらい時間がかかりました。スイス庭園からは、薬師、赤牛、水晶、水晶池、高天原がよく見えました。

山荘は雨水なので、キャンプ場の水場まで、水を汲みに行きました。その水のおいしいこと、顔、手足を洗い生き返りました。夕食の石狩鍋のおいしかったこと。3杯お変わりしました。ここでも、労山カードで、500円引き、更に、三俣山荘と連泊なので、500円引きで、ラッキーでした。それもそのはず、初代オーナーの伊藤正一氏は労山の初代会長だったことを登山時報8月号で知りました。お粗末でした。

(三俣山荘前で)



槍をバックに (大塩氏撮影)



三俣蓮華岳

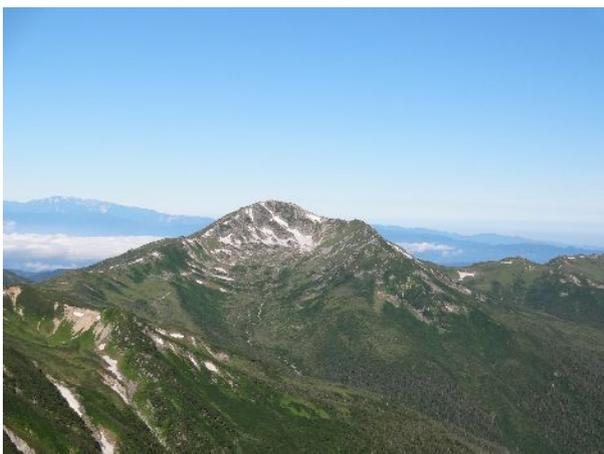
【鷲羽岳山頂より】



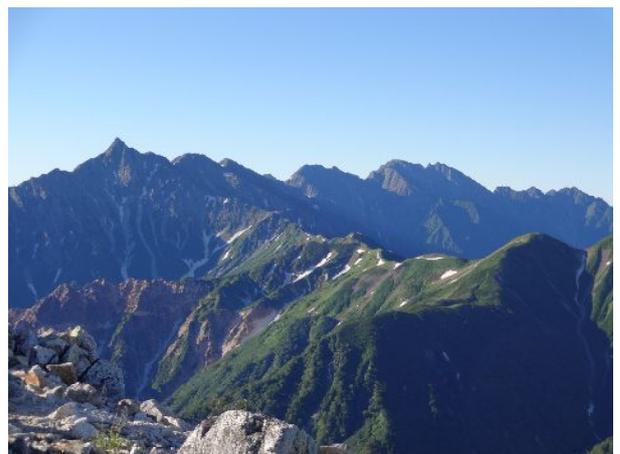
鷲羽岳山頂にて



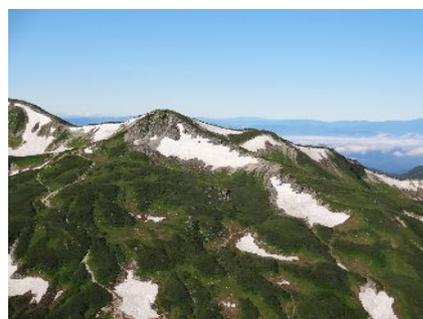
槍ヶ岳方面



黒部五郎岳

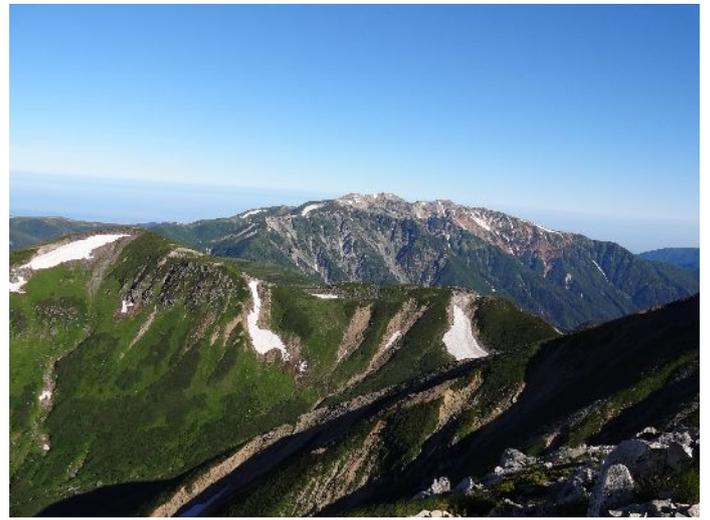


三俣蓮華岳→





三俣蓮華岳の間から笠が岳を望む



祖父岳と薬師岳



祖父岳山頂



祖父岳より笠を望む



スイス庭園から、水晶岳



スイス庭園から薬師・高天原・赤牛



雲ノ平山荘より
黒部五郎岳の上にあがった月
右の山は北ノ俣岳

8/1 晴れ

雲ノ平山荘→アルプス庭園往復 → 奥日本庭園 → アラスカ庭園 → 薬師沢 → 太郎平小屋
(6:50) → (7:30) → (10:21) (10:55) → (14:16)

この日も快晴、アルプス庭園からの水晶岳は格別の眺め。薬師岳を眺めながら、奥日本庭園・アラスカ庭園の平坦な道を1時間ばかり歩くと、木道が途切れ急坂となる。中高年で、しかも、Hさんの事故の事があるので、転ばないように慎重に下り、薬師沢に着きました。想像通り気持ちのよい水場で、味噌汁を沸かして、一服。疲れた体に塩分が染み渡りました。(24年前はコースタイム3:20を2:12で登る。やはり、若かった。)

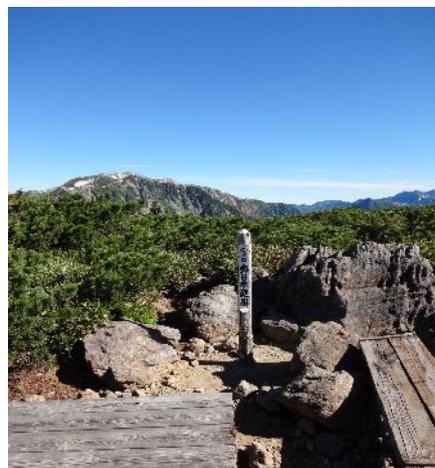
カベツケヶ原は笹原が広がり、お日様のさえぎるところがなく本当に暑いでした。たいした登山ではないのに暑さで後半はダラダラ歩きになり、太郎平小屋が見えてきたときは、助かったと思いました。



雲ノ平山荘前

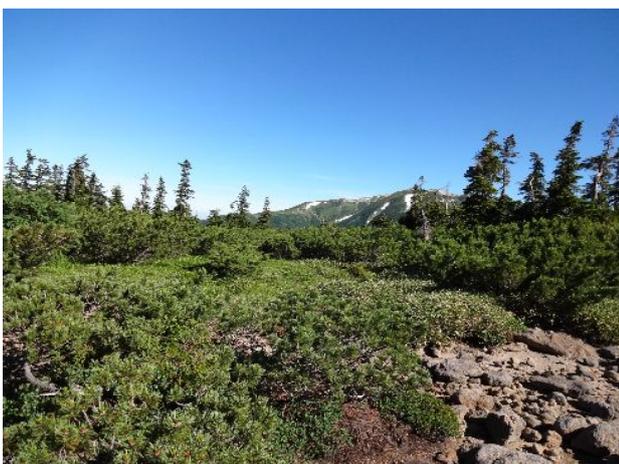


アルプス庭園から水晶岳・祖父岳



奥日本庭園

薬師沢にて↓



アラスカ庭園





太郎平小屋と薬師岳



ミヤマアキノキリンソウ



エゾシオガマ



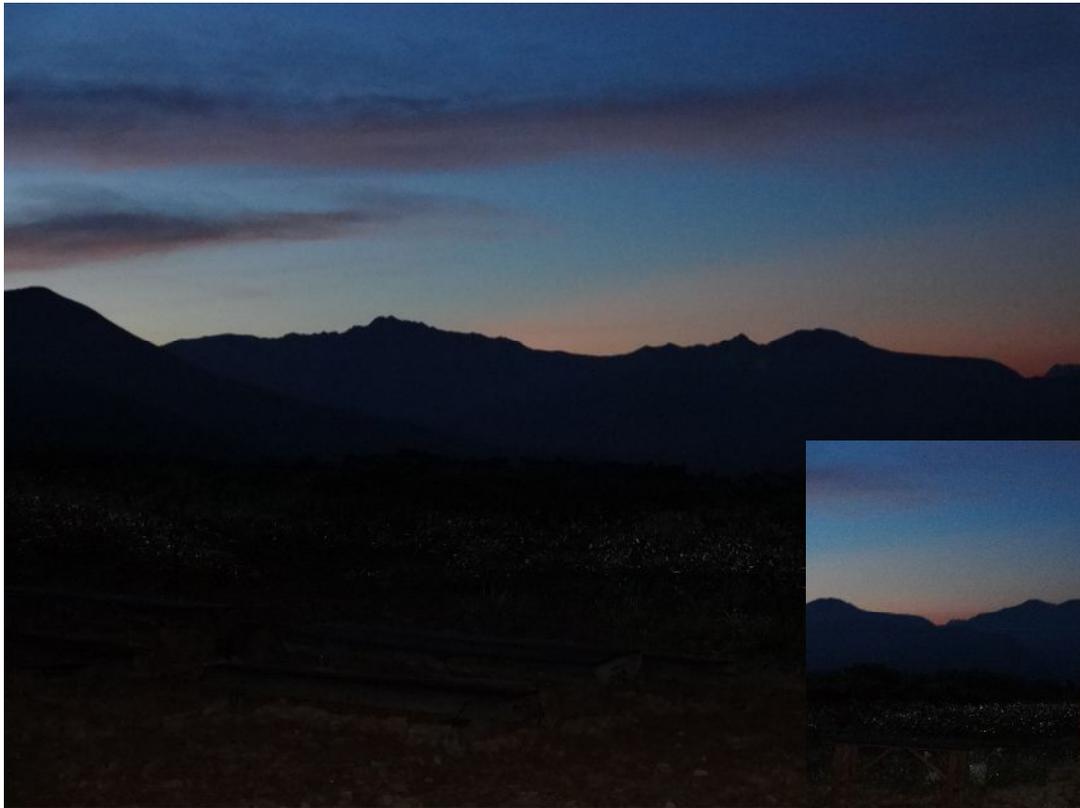
イワイチョウ



ウサギギク



明け方太郎山に沈む月



朝焼けの山々
左より水晶・ワリモ・祖父・その後ろ鷺羽・
右の落ち込んだ右側は北鎌

8/2 晴れ

太郎平 → 五光岩ベンチ → 三角点 → 折立 → 亀谷温泉 → 富山
(6:01) → (6:41) → (7:58) → (9:38) (10:30) → (11:12) (13:12)

最終日、下るのみ。時間はたっぷりあるので、ゆっくり、時間を稼ぎながら降りました。薬師の左奥に尖った剣が見えました。(私には、等々縁のない山となりましたが。) ゆっくり歩くのもしんどいものです。途中1週間前ほどここで、熊に出会ったという男性の登山者に出会いました。熊も食べ物がないのでしょうか。無事、折立に下り、亀谷温泉で5日間の汗を流して、今回の雲ノ平縦走終了となりました。お疲れ様。





←ツルアリドウシ

ユキザサの実

